

神戸いのちの電話

社会福祉法人 神戸いのちの電話



《悲しみの意味 サフラン》

星野富弘 花の詩画集『花よりも小さく』（偕成社2003年出版）より

「いのち」と「生命」

神戸いのちの電話 研修委員長
甲南女子大学 「こころの支援室」

南部 眞理子



改めて考えてみると「いのちの電話」は、「生命(せいめい)の電話」とは言いません。

「いのち」と「生命」は、どう違うのでしょうか？

どうしてひらがなで「いのち」と表すのでしょうか？と長い間考え続けています。

人間の「生命」は、二つの細胞の出会いからスタートします。

iPS細胞でノーベル賞を受賞された山中伸弥先生の大阪での講演会に3年前運よく当選しました。山中先生は、2000人の会場でも一人一人に語りかけられるように話されました。「長年、顕微鏡をのぞいていると60兆個と言う人間の細胞の一つひとつに心があるような気がします」と言われました。細胞に「生命」を感じるのは、必然でしょう。ここで山中先生は心とおしゃったのです。おそらく細胞と細胞の関係性に、そしてその細胞の一つひとつに、丁寧に真摯に関わっていらしたのでしょう。だからそこに心を感じ取り、iPS細胞と出会われたのでしょう。細胞に心を感じるとは「生命」維持ばかりではなく、何か科学の枠を超える感覚ではないでしょうか。

私たちは、これまで学校教育の中で実に多くの「生命」について学び、記憶してきました。雄花や雌花の形、からだの部位の各名称。個人的には「なぜ、雄花と雌花が別々に存在するのだろうか?」「一つの花にどうしてめしべとおしべがあるんだろう?」等、生命が織りなす不思議に興味がありました。だから、理科は面白かったのです。

私は、「生命」について覚えることはしなかったけれど、「生命」について多くの疑問を持ち、考え続けてきました。幼い頃から蟻の動きを眺めるのが好きで、蟻を瓶の中で飼っていました。一生懸命に取りつかれたように働く蟻に生命現象を感じながら、蟻と蟻が触覚をすり合わせて挨拶をしているような姿に私たち人間と同じ何かを感じていました。あの時の感

覚が今も忘れられません。

さて大人になった私は、日々子どもや学生たちに接しながら、一人の臨床心理士として教育臨床にかかわるようになりました。そして、今日も「いのち」と「生命」とについて考えています。

今から800年ほど前、神聖ローマ皇帝フリードリヒII世(1194~1250)は、生まれたばかりの赤ちゃんを集めてある実験をしました。この時代の欧州は、侵略戦争が繰り返されていた時代です。6カ国語を話すことが出来た王様は、「赤ちゃんは、一体何語を話し出すのか?」「人間は、生まれた時から自分の言葉を持っているのか?」と興味を持ちました。そこで、今では許されるはずもない実験を思い立ったのです。この頃の欧州は捨て子が多く、また戦争により孤児となった1歳未満の新生児も多くいました。50人の新生児を集め、そして、生命維持に必要な栄養と生活環境を整え、世話をする乳母(今でいう看護師)たちに以下のような条件を伝えました。「きちんと栄養を与えること。清潔に世話をすること。しかし、情動を交わしてはいけない」と。おそらく、「目を見てはいけない」「言葉を語りかけてはいけない」「微笑みかけてはいけない」「泣いても情動を動かされてはいけない」というコミュニケーションだけではなく、間主観的な関係性をも禁じる命令だったのではないのでしょうか。

さて、その様な関わりのもとで赤ちゃんは何語を話し出し、どんな様子だったのでしょうか?その関わりの結果、赤ちゃんたちは、泣くことしかできず、「あー、うー」しか言えなかったのでしょうか?結果は、喃語(赤ちゃんが言葉を覚える前に発する「ばぶばぶ」「うまうま」など)を話す、言葉は理解しないという状態ですらありませんでした。生命維持に必要な栄養と生活環境を整えたにもかかわらず、「全ての赤ちゃんが死んでしまった」と報告されているのです。もちろん、孤児ゆえの苦難や栄養不良があったことは考慮しなくてはならないでしょう。しかし確かに赤ちゃんの生

物学的な「生命」を維持すると同時に、人間として「いのち」を得るためには、栄養と清潔だけではない何か根源的なものが欠けていたのです。

それは何でしょうか？言ってみれば、それは特定他者との関係性でしょう。この実験では、赤ちゃんをあやす際に自然と口をついて出る「おー、よしよし」などの間主観的な関係性は禁止されました。この「おー、よしよし」は、具体的に「何がよいのか」全く不明な表現です。ある子育て最中の妻が、泣き叫ぶ我が子をあやしつづ「おー、よしよし」と言うのを聴いていた夫が「何が、いったいよいの？」と尋ねました。妻は、この難問に「うーん」考えてから「おまえも泣きたいんだね。私も泣きたいのよ。何がどうしたらいいのかわからないけれど、まあ、でもいいよね。二人ともよしよしという感じがしら」と答えました。おそらく、「おー、よしよし」は、一見理屈としては成立しない祈りに近い呟きなのでしょう。しかし、泣いている我が子を前にその存在を認め、泣いていることに寄り添い、祈るような気持ちで「おー、よしよし」なのではないでしょうか。

800年ほど前、「おー、よしよし」を禁止された乳母たちの表情は、泣いている赤ちゃんを前にどんなものだったのでしょうか。赤ちゃんは、喜怒哀楽もまだ十分に分化していない感情の渦の中でさえも泣いて助けを求める力があります。しかし、その関係性の一方である乳母たちが、それに「おー、よしよし」と応じることを禁止されていたのです。赤ちゃんに備わっている関係性の手段である泣き声、訴えを無視しなくてはならなかったのです。この悲惨な実験は、現代社会に生きる我々に「おー、よしよし」の関係性の大切さを示しているのかもしれない。

10年前、故日野原重明先生と宗教学や看護師の先生方が中心となり、この神戸の地で「スピリチュアルケア学会」が立ち上げられました。私も第1回から参加させていただいています。学会の始まりにあたり「スピリチュアル」とは、日本語で何と表現できるか？

と他分野の参加者と共に話し合いました。そして、「いのち」「魂」と言い換えられるかもしれないと落ち着きました。

この学会の縁で、日野原先生98歳の時に、三井寺などを巡る琵琶湖湖畔の1泊2日旅にご一緒させていただきました。ご住職のお話を伺い、仏像を参拝し、先生のみじかで食事を共にし、琵琶湖クルーズをご一緒しました。心に刻んだのは、100歳にもなろうかという先生の生命力の強さだけでなく、何千人の前でも、一人の小さき者の前でも、変わられることがない先生の心の有り様でした。今も昨日の事のように先生のあたたかな眼差しを感じることができます。

先生は生物学的な「生命」をまっとうされ、今年7月天国に旅立たれました。先生のあたたかな「いのち」は私の中にあり続けています。困難に出会ったとき、「先生なら、どうされるか？」と感ずることがあります。もしかしたらあの穏やかな表情で、そう少し首をかしげて「おー、よしよし」とおっしゃられるのかもしれない。

最近思います。生物学的な「生命」が、ある形で引き継がれたものが「いのち」なのかもしれない。「生命」が「いのち」になるためには、人と人との関係性が必要なのだろうと。

最近思います。ひらがなの表記の「いのち」には、こうした科学や医療でいう生命現象を超えた、客観的には説明できない、ある種宗教的とさえいえる抽象的な人間の性質が込められているのではないかと。

「いのちの電話」は、「生命(せいめい)の電話」とは言いません。

生物学的な「生命」を繋ぐためだけでなく、「いのち」を繋ぐために聴く電話なのかもしれません。日々、電話の向こう側のコーラーに寄り添おうと、その「いのち」を感じようとしている全国の相談員の方々に感謝し、またこの「いのち」を支える層が厚く広くなることを心から願っています。

「よき隣人として」

神戸YMCA総主事
神戸いのちの電話評議員



井上 真二

あらためて神戸YMCAと神戸いのちの電話の関係を紐解きますと、当時の今井鎮雄神戸YMCA総主事（第6代神戸YMCA総主事）の主唱のもと、1980年春に開設準備に入り、第1期電話相談員養成講座がスタートし、相談員認定をへて1981年6月に全国で12番目のセンターとなりました。相談員養成講座と認定後の継続研修などの電話相談員に対する研修は、当初から電話相談を行う上での必須要件として実施され、神戸YMCAに関係の深い武田建先生（元関西学院大学学長、理事長）、白石大介先生（元武庫川女子大教授）などのカウンセリング第一人者が指導に携わられました。今井総主事は開局と同時に神戸いのちの電話委員長に就任し、そしてその後も代々の事務局長を神戸YMCA職員が務め、1997年からは山口徹総主事（第8代神戸YMCA総主事）が委員長として責任を担いました。施設的にも開設から1997年3月まで長田区の神戸YMCA西神戸青少年センター内にブースを構え、その後2001年4月まで神戸YMCA三宮会館で活動を続けました。そして、その新たな発展型として社会福祉法人の設立を目指すことになり、2002年3月に神戸市から認可を受け、社会福祉法人神戸いのちの電話（山口徹理事長）として再出発をされました。

このように、一粒の種が地にまかれ大きく枝をはる樹となりました。また、聖書の教えである「すべての小さき者にしたのは、すなわち私にしたのである」、「行ってあなたも同じようにしなさい」とイエスキリストが語る「隣人」のイメージにつながるものであることは間違いありません。このことは創立以来、青少年のよき隣人（Good Samaritan）として活動してきた神戸YMCAとも軌を一にするものであります。翻って今日の日本のYMCAは130年を超える歴史があり、Good Samaritanとしての活動をさらに拡大し続けるがゆえに、対象の多種多様さ、さらに活動プログラム・事業の多様化が進行し過ぎて実は「YMCAのこ

とはなんとなく知っているが、本当は何をしているか実はよくわからない」という声が大きくなってきました。いわば社会全般に対して名前の認知度はあるものの内容については殆ど正確には認知されていないという状況に陥ってしまいました。この問題に対して全国のYMCAが一致協力して「ブランディング」に取り組み、これからも地域の皆様から必要とされ、多くの方々を選ばれる存在となるために、決意を持って新しい旗印となる新しいブランドロゴ・スローガンを10月1日から掲げました。

新しいスローガンは「みつかる。つながる。よくなっていく」

- あなたがしたい何かを「みつかる」ために、YMCAは多様なニーズに応えられるよう、幅広い活動を展開していきます。
- あなたが「つながりたい」誰かを探すために、YMCAは家族、コミュニティ、全国、世界の人びととの「つながり」の創出を大切にしていきます。
- あなた自身の人生がもっと「よくなる」ために、これからの世界に不可欠な、かけがえのない場所になっていきたいとYMCAは願っています。

神戸いのちの電話は、常に、孤独の中に苦しむ人々に寄り添い、隣人でありたいと願い、電話による相談事業のパイオニアとして、専門家による訓練を受けたボランティアの方々が相談を重ねてこられました。この神戸の地で、これからも同じミッションを持つ同労として、小さくされた人々のよき隣人として共に活動を推進していきたいと思えます。

こ 案 内

2018年度 連続公開講座・第34期電話相談員養成講座

- 連続公開講座(全8回) 4月5日～5月31日 毎木曜日 18:30～20:15(連休を除く)
- 電話相談員養成講座 6月21日～

今年は
木曜日夜間に
実施します。

詳しくはホームページ (<http://kobe-life-port.org>) または案内パンフレットをご覧ください

ご支援有難うございました

2017年4月から9月までに、会費・寄付を頂いた皆様のお名前です。(敬称略順不同)

《維持会費》

相浦 和生	相田 裕子	赤松 彰子	赤本 公孝	井芹 史子	石川 明子	井出富光子
阿部 元則	余部 迪子	神阪 直子	後藤 方江	金田 知子	梅田美恵子	伊藤 益朗
上田 律子	梶原 稔子	高谷 晋介	金田美恵子	荻原 邦子	占部 太	氏原 光世
長内 靖子	雀部 昌吾	中道 基夫	木村 暉美	小山 和代	大川 裕子	島野 俊子
篠塚 正子	中道晴夫・悦子	柴崎加代子	佐藤 久子	古座岩博子	首藤 恭子	武内 朗子
馬場 金司	名田 敦子	橋本 和子	杉本 和俊	田中 享之	竹森 勝彦	馬場 清子
畑 道子	橋本 正晴	藤井 佳子	西垣 二一	中村 昭子	萬代 慎逸	宮崎久美子
平井 恵子	保科 英美	佐久間初江	橋本 裕美	松下 光子	森末 隆子	宮田 満雄
野澤太郎	三戸喜久子	松本 悦子	依藤 允子	堀 笙子	牧志 博子	三井勢津子
肥田 陽子	山田 公子	渡辺 義子	吉田多佳子	山口 芳子	檜枝裕美子	藤尾 益也
いずみハートクリニック 泉 和秀			大森クリニック 大森 和広			

《賛助会費》

いずみ心療クリニック 谷口 加容	永安心療クリニック 永安 茂雄	医療法人社団新川医院 新川 賢一郎
(株)トーアコーポレーション	まつい心療クリニック 松井 律子	(株)淡路屋 寺本 督
兵漬兵庫食品株式会社	兵神装備株式会社 小野 純夫	バンドー化学株式会社
神戸市精神障害者家族連合会 小川 正	医療法人尚生会湊川病院	

《寄付金》

石川 明子	稲垣 由子	尾上 亮	太田 仁美	占部 太	落合 弘	尾崎富美子
河内 陽子	笥 雅典	片山 誠一	加茂 周治	木村 暉美	熊谷 郁子	阪本 寛之
島田 恒	高木 潤子	田中 寛	平井 恵子	竹内 静子	積 啓子	鶴田美津子
中道 基夫	内藤 和子	依藤 允子	馬場 金司	馬場 清子	藤村 忠克	本城 智子
水野 ミツ	眞 宗 寺	若井 克子	渡会 紀子	和田 義次	高橋 孝正	
建部 典夫(善照寺)		甲子園二葉教会女性会		日本キリスト教団明石教会		
小野キリストの教会		シスメックス株式会社		神戸ロータリークラブ		
学校法人松蔭女子学院		村田建設株式会社		中山神経内科 中山 幸平		
田淵神経科内科診療所 田淵 健次郎						

※なお、匿名希望の方、本法人の役員、研修委員、現相談員の名前は掲載しておりません。ご了承ください。

神戸いのちの電話 相談電話 ☎078-371-4343

平日	8:30～20:30
土曜、第2・4金曜	8:30～翌日8:30(祝日の時 8:30～16:00/20:30～翌日8:30)
日曜、祝日	8:30～16:00

自殺予防 いのちの電話フリーダイヤル ☎0120-783-556

毎月10日	8:00～翌日8:00(24時間・無料)
-------	----------------------

— 精神神経科のクリニック 25年 —



浅野神経内科クリニック

浅野 達藏

住吉本町に私がクリニックを開設したのは1992年です
ので、25年がたったこととなります。開設して3年もた
ない頃、1995年1月17日にあの阪神・淡路大震災
がおり、クリニックにこられていた患者さんも3人が家
のがれきの中にはさまれてなくなりました。その後し
ばらくは、避難所になっている小中学校の体育館や教
室、そして仮設住宅に往診してまわった記憶がのこっ
ています。その2年前、1993年におこった北海道南
西沖地震では、奥尻島で津波と火災のため大変な被害
がありましたが、その時は頭では甚大な被害であるこ
とは理解していましたが、その被害を受けた方々の苦
悩を共感することはありませんでした。

しかし2011年3月の東日本大震災の時は、丁度クリ
ニックの控室で地震直後の仙台新港の画像をNHKがな
がしていたのを何気なくみていて、うつっていた棧橋
が海にのみこまれ、さらにはその上にたっていた倉庫
も水にのみこまれてしまう姿、ヘリコプターからと
った画像で、川の堤防をこえて津波がおしよせる中
を車でにげまどう人々をみて、とてつもないかなし
みと慟哭をおぼえました。

人は中々自分で経験したことでないことを想像して、
その心労に共感することはむずかしいものです。うつ
病の患者さんで自死をえらぶ患者さんの心の中にも
つよいかなしみやいかりがみうけられます。それを
かんじとり、共感して、治療にむすびつけていくこ
とが精神神経科クリニックの役割です。しかしどうし
てもそこからまれおちてしまう方もいらっしゃいま
す。皆様方が、うけとめて、共感をしていただいたお
かげで「生」を選択することができた方がたくさんいら
っしゃいます。私も1年に3日だけは石巻にいき、仮
設住宅や復興住宅を訪問して、震災への共感をたま
ちつづけていこうとおもっています。今後とも皆様
のご活動を応援させていただきます。

今、ここからの活動

私が養成講座を受講したころは、全国に3万人以上の自殺者がお
られました。毎年厚労省からの新聞掲載を見るたびに、胸が締め
つけられるようでした。専門的知識などない私が何か出来ないか
とたどり着いたのが、「神戸いのちの電話」でした。

自宅マンションはJR神戸線の近くにあり毎日騒音に悩まされて
いますが、突然電車が止まり静寂な時間が流れる時があります。
これは人身事故が発生したことを意味します。傾聴活動を始める
前には考えることがありませんでしたが、今は事故に遭った方は
どのような思いで逝かれたのだろうかと考えようになり苦しく
なります。

私たちの受ける電話からさまざまな悩みや苦しみ、絶望感が伝
わってきます。経済的困窮、孤独、人間関係、精神的肉体的な
悩み等多岐に亘り、重複している方も増えております。このよ
うな状況と心理的なストレスをどのように受け止めるかが、今
私の課題です。

活動を始めてしばらくは緊張ばかりしていましたが、最近ようやく
落ち着いてきたように思います。そのために研修委員の先生から
心理的な継続研修を受け、電話のあと先輩方と振り返りながら
反省して次に繋げていくようにしています。合わせて新しい
相談員には、出来るだけ声をかけて一緒に学ぶようにしています。

活動出来る相談員がもっともって増えて、多くの方々に寄り添
えますように願っています。

(S.M.)

いいものは時代をこえて生き続けます

ゴーフル®

神戸風月堂

Since 1897

サニイ ゴーフル
本社 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL(078)321-5555
URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>

おかげさまで
120
anniversary
創業明治30年

90
年
1897-2027

海の幸

高嶋酒類食品株式会社

碍子等電気絶縁物 及び
モールド・トランス等の卸売

〒658-0044
神戸市東灘区御影塚町3丁目9番18号
東光碍子株式会社
取締役社長 濱 浩一



社会福祉法人 光朔会

http://www.olympia.or.jp/
(078)221-7098

特別養護老人ホーム オリンピア
グループホーム オリンピア灘
高齢者総合福祉施設 オリンピア兵庫
高齢者総合福祉施設 オリンピア神戸西
サービス付き高齢者向け住宅 オリンピア鶴甲
グループホーム オリンピア篠原
オリンピア都保育園
オリンピア神戸北保育園
障害者就労支援センター オリンピア岩屋
発達障害者サポートセンター オリンピア住吉
神戸市立都児童館
居宅介護支援事業所 オリンピア明石
居宅介護支援事業所 オリンピア吳
グループホーム オリンピア長峰

みつかる。つながる。よくなっていく。

公益財団法人

神戸YMCA

〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-11
電話 078-241-7201(代表) FAX 078-241-7479
http://www.kobeymca.org

安全運転・快適な車内空間を
ご提供いたします!
夜間・早朝も対応します(事前予約要)
介護タクシー

ますらお 丈夫かい

山本 常雄
予約電話 090-3943-0110

〓ワタシたち マイク回 バブル入浴組〓
マイクロバブルトルネード
Science

HDC神戸ショールーム3Fで
ご自由に体験ください

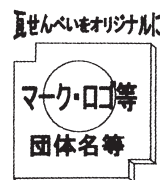
神戸販売代理店 小倉サンダイン株式会社
お問合わせ 078-332-2101
http://micro-bubble-tornado.com
http://www.ogura-sundine.com

59年の信頼と実績

大阪ガスサービスショップくらしプラス
株式会社ライフライン

台所・お風呂(水廻り)のリフォームから
手すり・バリアフリー工事等の介護リフォームまで
ライフラインにお任せ下さい!
住まいの快適を環境に適した提案で実現いたします。

神戸市東灘区住吉南町3丁目2番23号
0120-26-4919
Tel.078-845-2171



オリジナルせんべいをお作り致します。
記念品・贈答品等に最適です。
お気軽にご相談ください。

神戸市東灘区 長崎町2-1-1
創業明治6年
 亀井堂総本店
神戸・元町

Tel.(078)351-0001
www.kameido.co.jp

木村 歯科

〒651-0087 神戸市中央区御幸通8丁目1-6
神戸国際会館13F
☎078-251-1823



高級奈良漬

甲南漬

キリスト教精神に基づき、誠心・誠意・ご奉仕します。
介護保険の申請代行、ケアプランの作成、成年後見など
福祉でお困りのこと、まずお電話下さい。

ベテルおおた介護保険事務所
ベテルおおた社会福祉士事務所
社会福祉士・ケアマネージャー 大田 厚三郎
(日本基督教団神戸栄光教会会員・元西宮市役所職員)

〒655-0895 神戸市垂水区坂上1丁目2-19-103
携帯 090-9112-6357 FAX 078-755-5261



駅弁は、日本の心

淡路屋

弁当のご予約・配達承ります。
☎078-431-1682



甲南女子大学

KONAN WOMEN'S UNIVERSITY

〒658-0001 兵庫県神戸市東灘区森北町6-2-23
TEL 078-413-3130
URL http://www.konan-wu.ac.jp

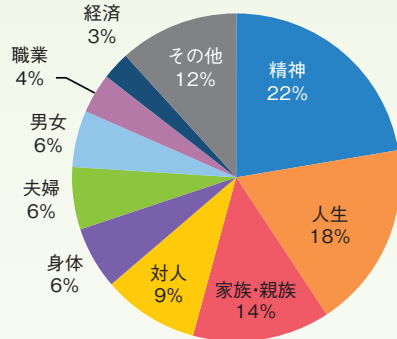
私たちは
神戸いのちの電話を応援しています

「神戸いのちの電話」統計報告

2017年1月～9月までの相談内容別受信状況

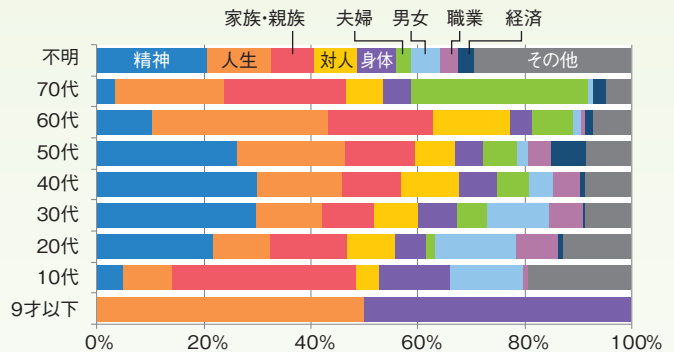
相談内容別受信状況(2017年1月～9月)

(総受信件数: 9749)



年代別相談内容(2017年1月～9月)

(総受信数:9749)



精神(22%)、人生(18%)、家族・親族(14%)、対人(9%)をあわせると6割強になります。これを年代別で見ますと、30～50代にかけて精神が多く、60代になると人生が多くなります。若い10代では家族・親族の相談内容が多くなります。70代では夫婦のことが増加しています。9歳以下は件数が少なく、今後の追加データ分析の余地があるでしょう。

相談受信件数と実働相談員数の推移

受信件数と実働相談員数(2006年～2016年)



この10年、受信件数はほぼ横ばいながら、微増の状態です。こうした状況にあって、相談員の実働数は130人から100人程度に減っています。特に、この5年ほどで実働相談員数は低下しており、相談員の負担が増加していると考えます。

相談員の聴く思いを支え、その負担を軽減するには、相談員数を増やすことが急務になります。その思いもあり、今年度から相談員の年齢制限の枠をはずしました。聴く力は年齢とともに増すことを期待しています。

文責：白石大介（研修委員）

編集後記

人と人の出会いは不思議ですが、本と人との出会いも不思議なものだと思います。

20年ぐらい前、悩み疲れ切った時に出会ったのが、星野さんの詩画集でした。何気ない日常の小さな輝きを見守る星野さんの優しさは今も私の心に残っています。本の中の絵や言葉が人の心を支えてくれる力を持っているということを実感しています。(M.U.)

広報紙 神戸いのちの電話

発行日 2017年12月

発行 社会福祉法人 神戸いのちの電話

発行人 理事長 水野 雄二

編集 神戸いのちの電話広報委員会

〒650-8691 神戸支店郵便私書箱1103号

Tel 078-371-4405 Fax 078-371-4355

E-mail kind4343@viola.ocn.ne.jp

ホームページ <http://kobe-life-port.org>